



2016年7月期 決算説明会資料



ウインテストは平成28年度横浜みらい企業に認定されました。

アジェンダ

- ◆ **当社の事業領域とポジション**
- ◆ **2016年7月 決算と通期見通し**
- ◆ **今後の経営戦略**

当社の事業領域と ポジション

半導体検査市場と当社の事業領域

•新規事業の開始

(2013年の各社売上による当社推定)

メモリテスター市場
70億ドル

DRAM

フラッシュ
メモリー

SoC
10億ドル
システムLSI
FPGA 等

国内、国外の大手テスター
メーカーが占有する市場

液晶有機ELディスプレ
イレイ検査装置

パワー半導体
検査装置

CCD/CMOS イメージセンサー

液晶ドライバー検査装置

•既存事業

当社の業界におけるポジション(1/2)

– 独自の検査技術を20年以上にわたり開発

LCDドライバIC検査（今期最も注力するエリア）

（スマートフォンやテレビなど液晶ディスプレイを駆動するためのICです）

**研究開発 → 量産導入評価から、
→ 量産導入（市場シェア数%に成長）**

当社の業界におけるポジション(2/2)

– 独自の検査技術を20年以上にわたり開発

イメージセンサ、液晶・有機ELディスプレイ検査

ハイ・エンドの一眼レフ用や衛星搭載用センサーなど

ロー・エンドのスマホ、ゲーム用センサーなど

有機ELでは、海外製造販売提携先を開拓し、海外顧客の開拓

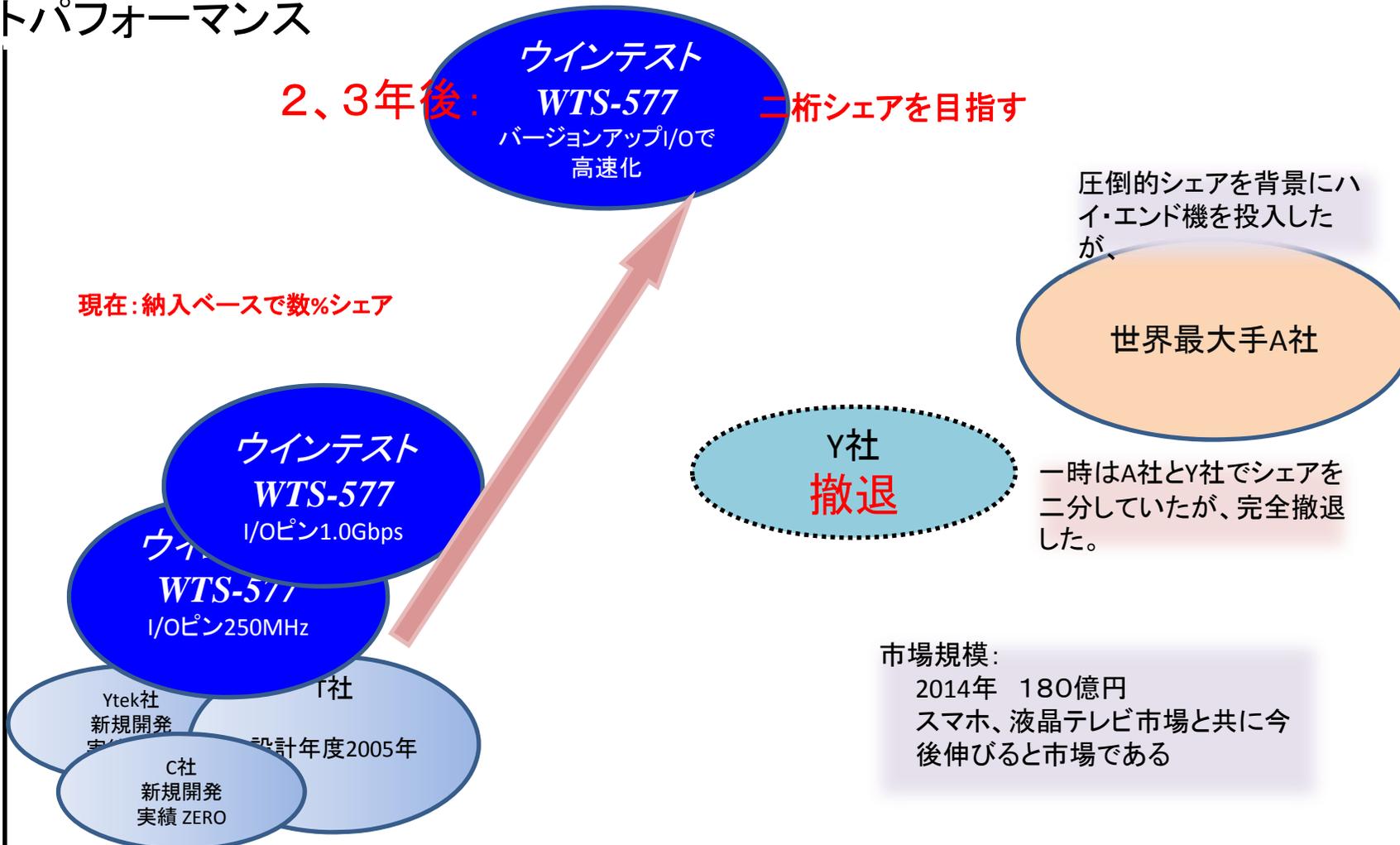
ミックスドシグナルIC(ロジアナ混在)、パワーIC

世界のマーケットは伸長も、国内顧客の設備投資停滞

海外の製造販売提携先を開拓し海外顧客の開拓

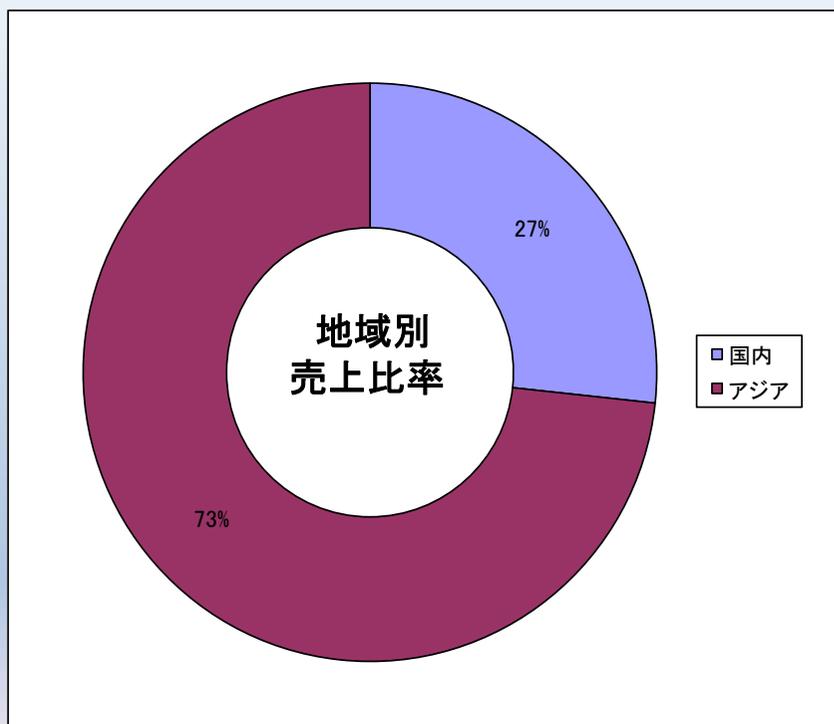
既存事業 LCDドライバにおける当社のポジション

コストパフォーマンス



→ 装置性能、実績

当社製品の主な販売先



主な顧客

【アジア】^(代理店) Probeleader社

☛ 大手LCDドライバメーカー

【日本】

☛ 大手カメラメーカー

☛ 大手医療関連メーカー

☛ 宇宙開発関連メーカー

2016年7月期決算

2016年7月期 決算ハイライト

■ 売上・利益とも当初計画を下回る

【要因】

- ① 既存顧客の仕様変更対応に時間を要した
- ② 中国の景気減速を懸念して設備投資計画が順延された

■ 自己資本比率は86.8%と高水準維持

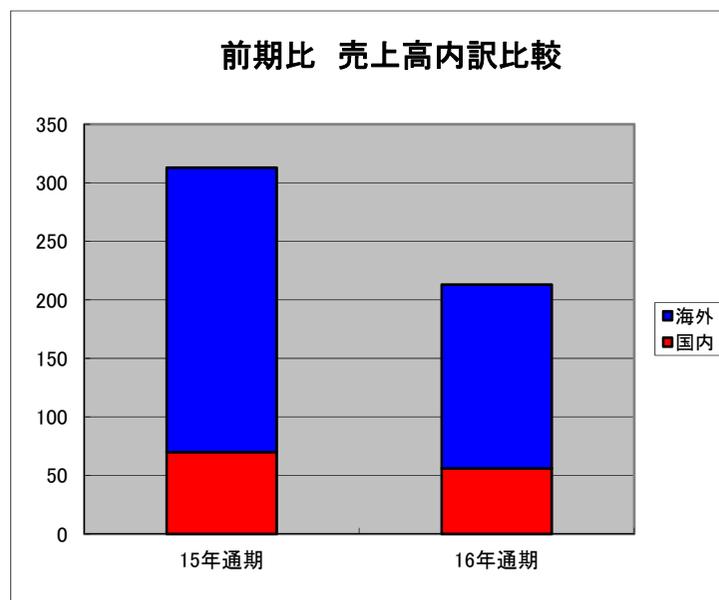
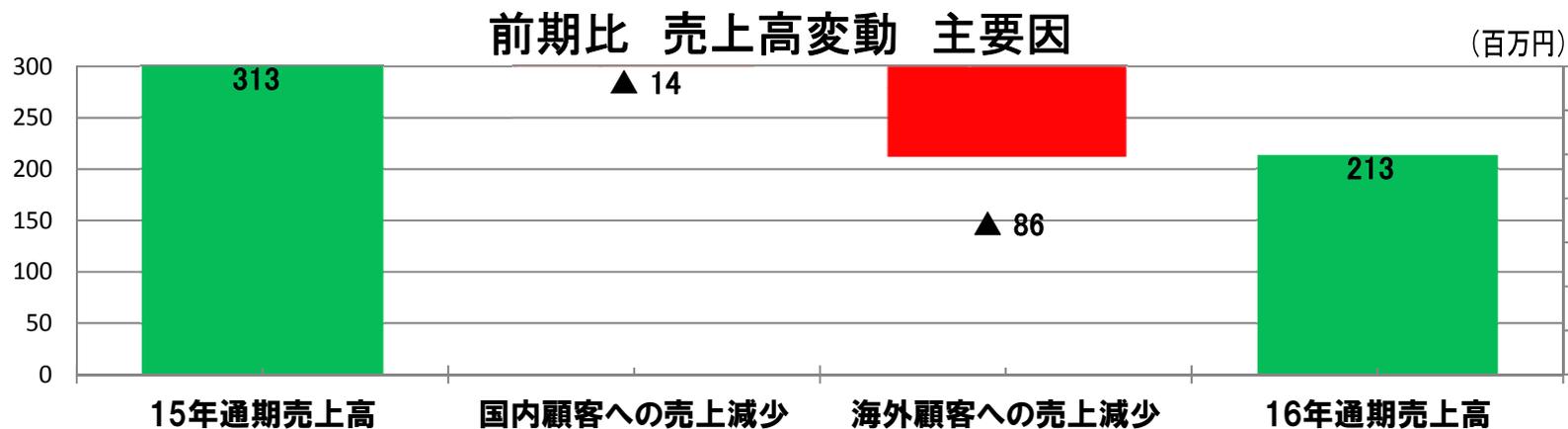
- ☞ 財務基盤安定化のため、増資等により資本の充実を図っており、自己資本比率は86.8%
- ☞ 現金預金残は6億円強をキープしており、今後の運転資金・研究開発のための必要資金を十分に確保

2016年7月期 決算サマリ

(百万円)

| | 15/7月期 | 16/7月期 | 増減額 | 増減率 | 主な増減理由 | 当初計画 |
|--------|--------|--------|-----|--------|-------------------------|-------|
| 売上高 | 313 | 213 | △99 | △31.9% | 見込んでた受注・売上が後送りとなり、低調な売上 | 837 |
| 売上総利益 | 120 | 78 | △41 | △34.9% | 売上減少による利益減少 | 337 |
| 売上総利益率 | 38.4% | 36.7% | — | — | 在庫評価減17百万円の原価計上で低下 | 40.3% |
| 販管費 | 332 | 292 | △40 | △12.1% | 試験研究費、旅費交通費が大きく減少 | 318 |
| 営業利益 | △212 | △213 | △1 | — | 経費削減により利益減少幅圧縮 | 18 |
| 経常利益 | △200 | △222 | △22 | — | 前期、県の補助金10百万円受領 | 15 |
| 当期純利益 | △201 | △226 | △24 | — | | 14 |

売上高の変動分析

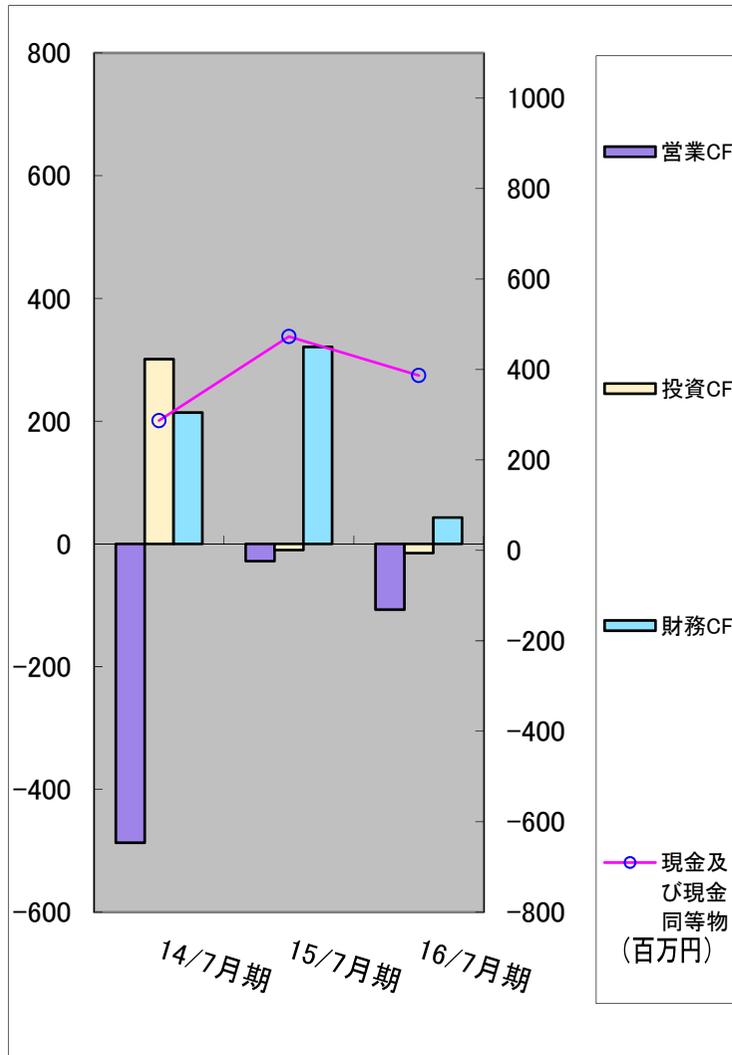


2016年7月期 貸借対照表サマリ

(百万円)

| | | 15/7月期 | 16/7月期 | 増減額 | 主な増減理由 |
|----------|------------|--------|--------|-------|-----------------------------------|
| 資産内訳 | 現金及び預金 | 573 | 487 | △ 86 | 増資で121百万円増加したが純損失計上したため減少 |
| | 受取手形及び売掛金 | 26 | 17 | △ 8 | 下期売上は低調 |
| | 仕掛品 | 177 | 139 | △ 37 | 海外受注先向けの納品で減少 |
| | その他流動資産 | 84 | 48 | △ 35 | 納品により製品2台/48百万円減 |
| | 固定資産 | 47 | 41 | △ 6 | 長期前払費用が5百万円増加するも減価償却、減損で11百万円減少あり |
| 資産合計 | | 909 | 734 | △ 174 | |
| 負債・純資産内訳 | 買掛金 | 0.2 | 0.2 | 0 | |
| | 1年以内返済長期借入 | 88 | 18 | △ 70 | 台湾からの借入70百万円完済 |
| | その他流動負債 | 20 | 28 | 8 | 保守サポート契約の前受金増 |
| | 固定負債 | 56 | 37 | △ 18 | 約定返済で減少 |
| | 純資産 | 744 | 650 | △ 94 | 増資で増加したが純損失計上で減少 |
| 負債・純資産合計 | | 909 | 734 | △ 174 | |
| 自己資本比率 | | 81.5% | 86.8% | 5.3% | 高い比率を維持 |

2016年7月期 CF計算書サマリ



| | 15/7期 | 16/7期 |
|----------|-------|-------|
| 営業CF | △28 | △107 |
| 投資CF | △10 | △15 |
| 財務CF | 321 | 43 |
| 現金・現金同等物 | *473 | *387 |

キャッシュ・フロー推移

・営業CF

| | |
|-------|------|
| 税前純損失 | △225 |
| 棚卸資産減 | 86 |
| 前受金増 | 11 |

・投資CF

| | |
|--------------|-----|
| 長期前払費用増(製造権) | △10 |
|--------------|-----|

・財務CF

| | |
|---------|-----|
| 新株予約権行使 | 121 |
| 長期借入金返済 | △88 |

*上記現金・現金同等物には定期預金1億円を含んでいません

2017年7月期 環境見通し

● 円高基調は続く、国内半導体メーカー統合、廃止が続く、引き換え海外設備投資活況続く

| | | | | | | | |
|--------------|--|--|----------|----------------------------------|--------------|--------------------|-----------|
| 外部環境 | <p>・カメラ 続く出荷台数減 カメラ大手4社、カメラ販売ふるわず。医療、監視用センサーやカメラ販売に新分野に活路求めるも、デジタルカメラの減速大、補えず。</p> <p>・台湾、中国 16年/17年の新興市場のスマホ需要は高級機メーカーのシェア変動が数量増、当社注力のLCDドライバの生産はTV向けも含めてフル稼働に近い状態まで復活か。</p> | | | | | | |
| | 個別環境 | <table border="1"> <tr> <td>イメージセンサー</td> <td>◆モバイル、監視向け、車載用で顕著に伸びるが、デジカメ用は激減中</td> </tr> <tr> <td>液晶有機ELディスプレイ</td> <td>◆海外では有機ELで新たな需要が発生</td> </tr> <tr> <td>液晶ドライバーIC</td> <td>◆途上国(インドなど)向けモバイル、TV向け数量増加、 ・受注・売上増加見込み</td> </tr> </table> | イメージセンサー | ◆モバイル、監視向け、車載用で顕著に伸びるが、デジカメ用は激減中 | 液晶有機ELディスプレイ | ◆海外では有機ELで新たな需要が発生 | 液晶ドライバーIC |
| イメージセンサー | ◆モバイル、監視向け、車載用で顕著に伸びるが、デジカメ用は激減中 | | | | | | |
| 液晶有機ELディスプレイ | ◆海外では有機ELで新たな需要が発生 | | | | | | |
| 液晶ドライバーIC | ◆途上国(インドなど)向けモバイル、TV向け数量増加、 ・受注・売上増加見込み | | | | | | |

■ 前期顧客仕様変更の開発に遅れたが、今期の新規開発は、遅れなし！

2017年7月期 通期業績予想

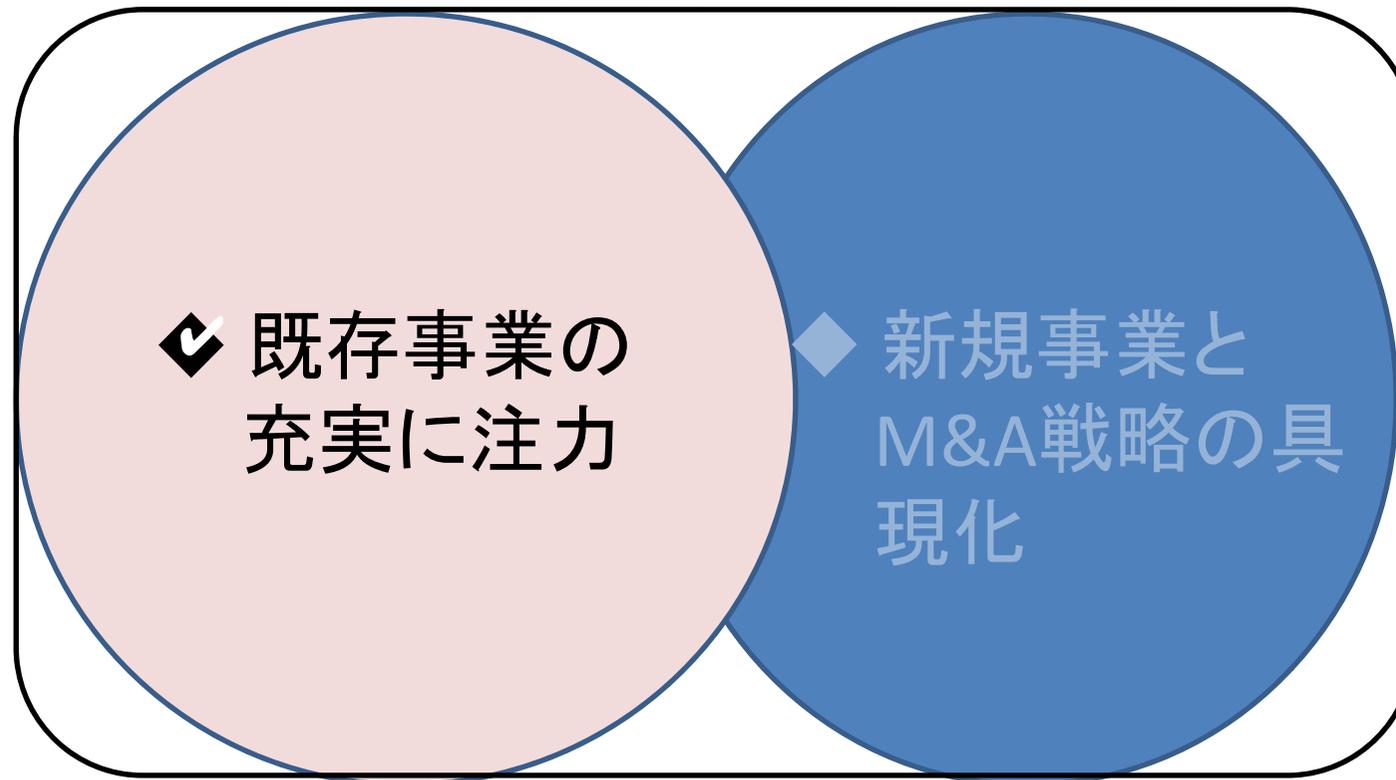
当社の2017業績予想数値につきましては、今期予定しているM&A及び新規事業展開に向け協議中であるため未定の要因が多く、見通しが立ち次第改めて通期業績予想値をお知らせします。

2017年 経営計画

◆ 既存事業の充実に注力

◆ 新規事業とM&A戦略の具現化

今後の取り組み概要（既存事業）



既存事業の安定化と充実

既存ビジネス

- 台湾、中国市場に的を絞った戦略を推し進める
 - 海外営業強化の為に集中と選択
 - LCDドライバ検査装置
 - CMOSイメージセンサ検査装置
 - 有機ELのアレイ、セルテストの中国マーケット開拓
 - 開発資源の集中
 - 高速シリアル転送に対応
 - ボリュームゾーンの低テストコストに対応

営業強化の為の集中と選択

◆国内

- ・ハイエンドのイメージセンサ分野のシェア維持

既存ビジネス

◆海外マーケット戦略

- ・ LCDドライバ検査装置を主軸にイメージセンサも
- ・ 台湾、中国出身の当社社員による直接営業、採用の促進

【台湾、中国方面】

- ・ デザイン&テストハウスの新規開拓を継続
- ・ 複数デザインハウスを同時攻略できる体制の整備

既存ビジネスの集中と選択

LCDドライバとは？

既存ビジネス

放送や伝送の映像信号を変換して、

液晶画面にきれいな画像や文字を表示させるIC

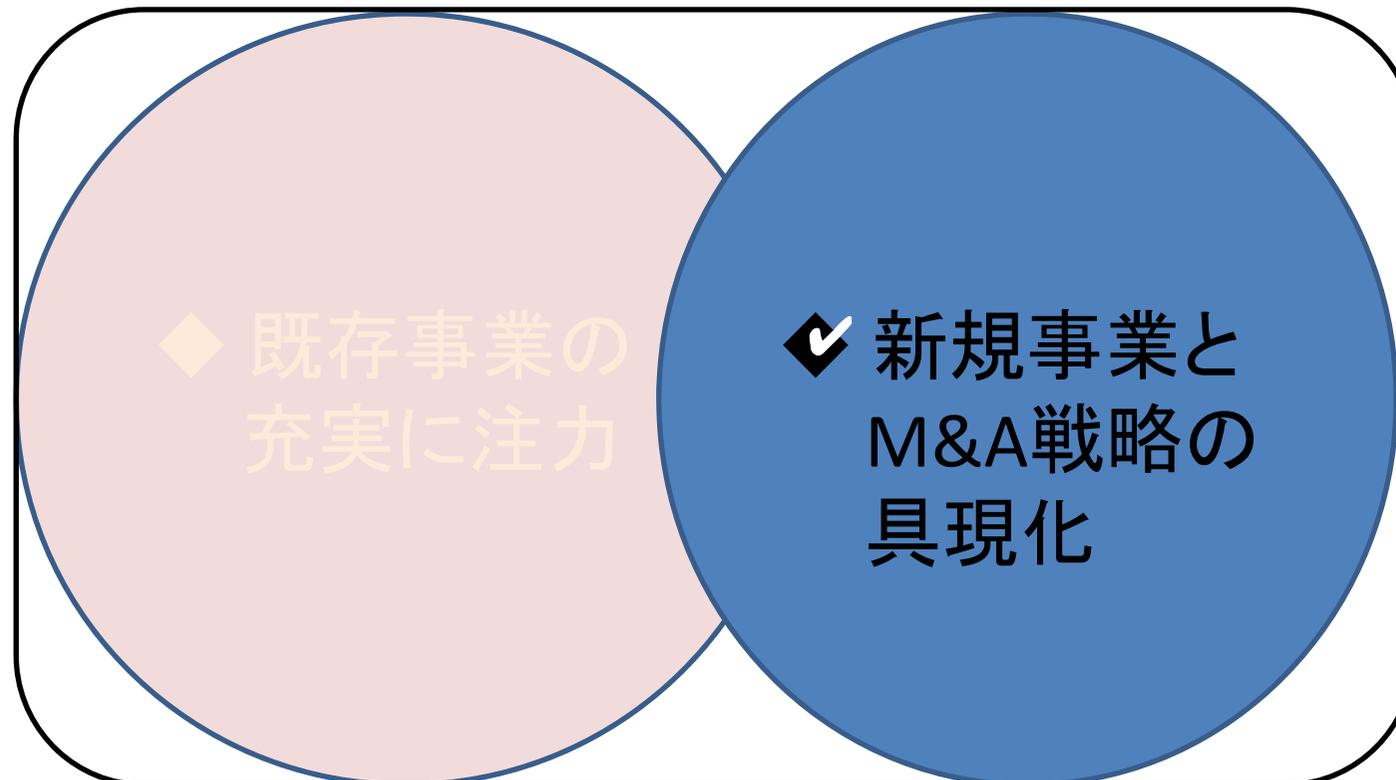


X(横方向)及びY(縦方向)ドライバと示したのがLCDドライバICです。

この多ピンIC(髪の毛の太さの約1/6の間隔で千本以上並ぶ)を検査する装置、それが当社のWTS-577です。

(髪の毛の太さ平均80 μ m)

今後の取り組み概要（新規事業）



新規事業成長戦略イメージ

成長分野へ新規参入
成長戦略実現に向けて
M&A・資本業務提携を
積極的に活用

既存技術を
応用し成長分野
へ新規参入

ロボット

電気
自動車

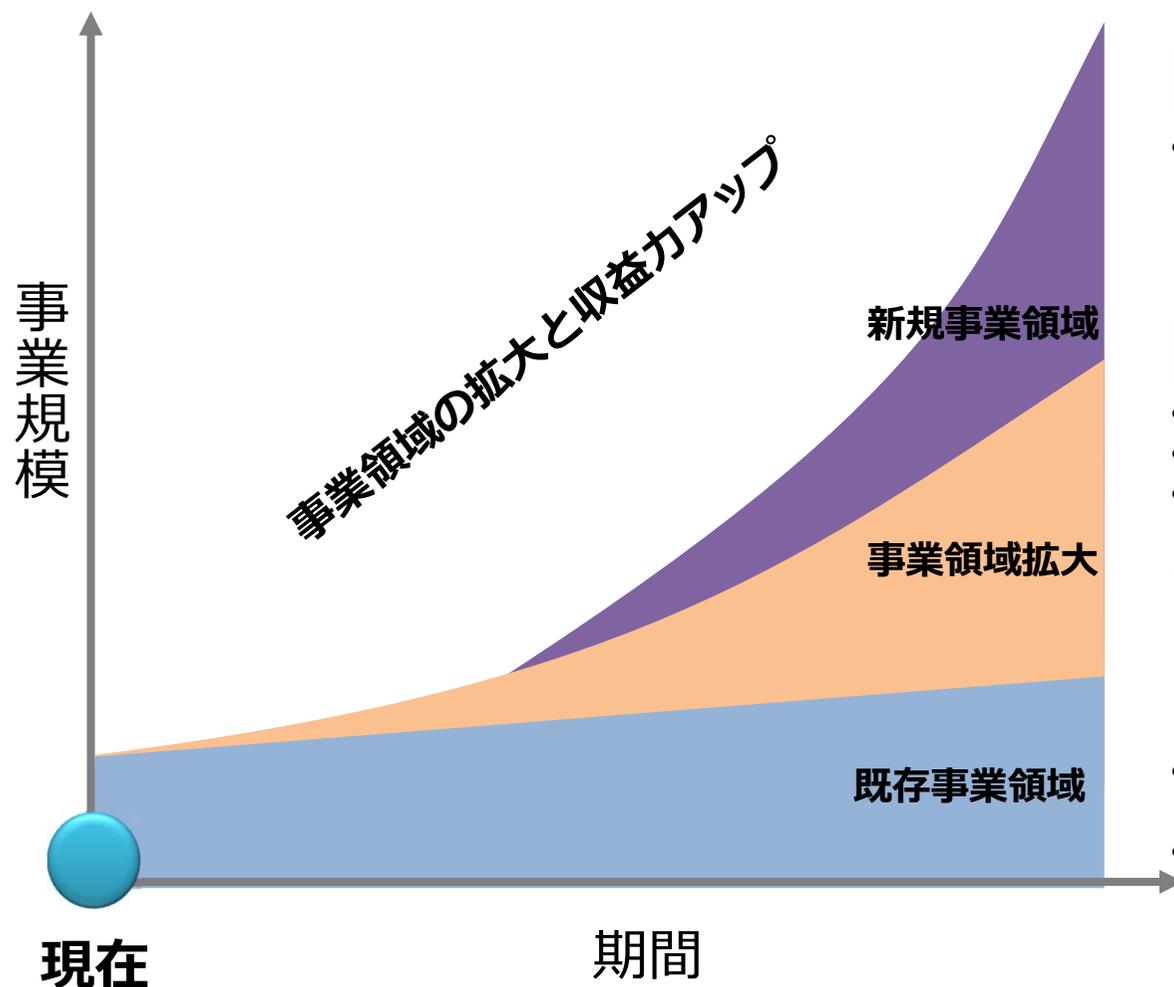
IoT

M&Aの資金調達準備完了!

現状

事業展開イメージ詳細

高度な半導体検査技術、画像処理技術、高精度センサ技術を応用し、新分野の開拓、事業領域の拡充、成長分野へ新規 事業展開



将来大きな成長が見込まれるIoT事業

- センサ技術とM&Aで新たに得た人・技術を生かし成長分野（IoT・ロボット・電気自動車）へ参入

新規事業の開拓から将来事業へ

- 自重補償機能を利用した介護福祉ロボット
- 電力の効率化をサポートする太陽光発電モニタ
- 既存技術を生かした音響機器、計測機器

※ これらの事業をIoT事業分野に集約、成長路線に

既存事業の充実

- アジア圏のニーズに合った検査機器のオプション機能強化
- アジア圏で需要が見込まれる検査装置開発

ロボット

慶応大学と共同で基礎技術の開発中(自重補償機構)

モーターレス・エコロボット。

画像処理技術で動作を監視、安全を見守るセンサー技術。

人口知能と組み合わせ、人間支援ロボット事業とする。

電気自動車

有力先行企業と資本事業提携を協議中。

パワー半導体の既存技術を生かしVCU(車体制御ユニット)やBMS(バッテリー制御装置)、充電設備の開発を行う。

自重保障機構装置で省力化バッテリー交換システムを配備

IoT (Internet of Things)

太陽光パネルモニター事業の開始。

個別のパネルからの情報をネットワーク化、データ解析でアクティブメンテナンスを提案。それらビッグデータをセンターで一括制御。

協力設置事業者と業務提携を協議中

M & A ・ 資本業務提携で事業展開を加速、実現させる

成長分野への参入 当社の計画する具体的な例

ロボット分野

ロボットアームに内蔵した「自重補償機構」が、対象物の重量をキャンセル、自重を「0kg」にします。

自重「0kg」となった対象は、どの位置でもバランスし静止することができます。

共同開発したロボットアームは、今後、産業用や、介護用リフト等への応用を目標しております。

電気自動車分野

EV

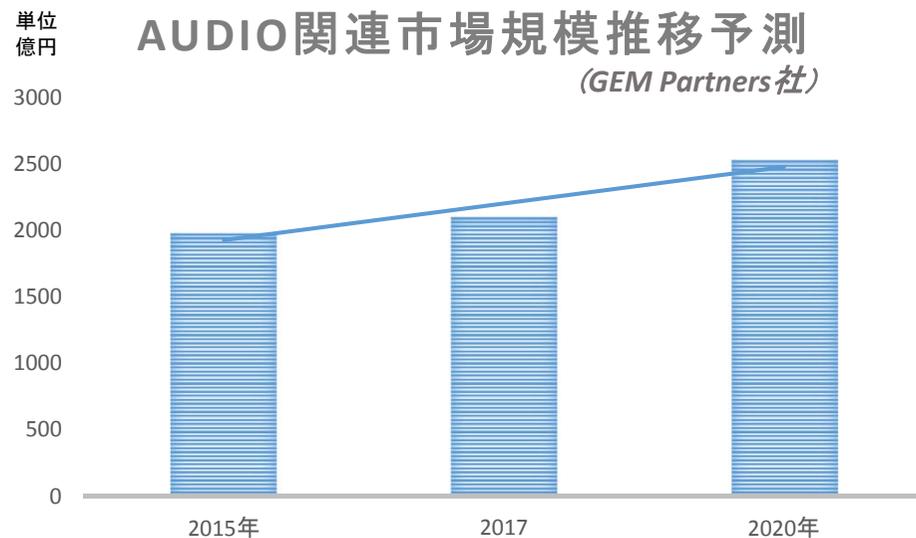
充電システム
バッテリー制御ユニット (BMS)

車載コントロールユニット (VCU)

検査技術・画像処理技術・IoTセンサー技術

オーディオと音響計測機器の製品開発

2017年2100億円規模市場となるオーディオ製品へ進出を計画



産業用の検査技術を生かし、オーディオと音響計測製品を開発

DAC & ヘッドホンアンプ

製品写真はイメージです

アンプ・スピーカー



免責事項

- 本資料に記載された意見、予測やビジョンなどは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
- 本資料の内容は事前の通知なく変更されることがあります。また、本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成したものであり、当社がその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。
- 様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。
- この将来数値に全面的に依拠して投資判断を行うことは差し控えていただきますようお願い申し上げます。

ウインテスト株式会社

TEL:045-317-7888